（郵便為認可）　（本號六頁）　（日曜日休刊）　（定價金二錢）

時事新報

第千四百三十二號
明治十九年十一月十三日土曜日（丁丑）
舊丙戌十月十八日
（西暦一千八百八十六年）
日出午前六時三十五分　日入午後四時十四分
月出午前七時十八分　月入午後六時三十三分
滿潮午前六時三十九分　滿潮午後六時三十三分

時事報報

親睦會の体裁

例年菊花の漸く馨ぐしき頃より櫻花の將に綻びんとする頃に掛けて東京府下に何々親睦會と稱する者の催し陸續として有り近來は追々地方にも傳播して所謂親睦會あるものに日本國中にて聚まる人と費す時と金とは中々鮮少に非ざる可き斯く多くの人と會し時を費し金と散じて親睦會と開化たる處にて扱て其結果如何と云へば多人數雜然烏合して縱飲放食する位に止まり巧に親睦の目的と達せるもの甚だ寡々なるが如し化は誠に惜む可き事共なり蓋し親睦會の目的は飲食にあらずして社交を密なるに在り故に此目的をさへ達し得ぎれば其媒介たる飲食の類の如化い如何樣にても差支あ化やうあるとも人事は錯雜ある其關係の微妙不可思議ある決して單純なる一則一律にのみ依賴すべきに非ず仮能く親睦の目的を全うし得るものは蓋し西洋風の宴會集會に若くものなかるべし但し今日の處にては東京府下に於ても西洋風の會合は適當なる場所に乏しきが爲め多人數相會して規則正しき會食を催うすとも叶はず諸事萬端都合の惡しき節條もあれども近時社會は改良と共に西洋風の大會場も起るべく今日よりても西洋會食にて百人前後の人を容るゝに足る會食場あるにもあらず況して立食立談の法を以て多人數を會せんとするに於ては其事甚だ容易にして到る處其會場に乏しかゝざるに於てをや左れば斯くの如くして從來坐食の宴會を一掃して西洋風の會合を催うすこと、爲れを會場の体裁整頓して多人數の集會には其便利百ふ可らず第一日本風の會合にては來客座隅に割據して動もすれば碁將棋あるとて團み起坐の面倒あるが爲め座間の周旋奔走に懶く爲めに幾分か會衆の親睦を薄うするの實なきに非ず或は又献酬と稱して覦員樣の杯を遣り取りして一座の体裁封建時代の君公より御酒下されと云ふやうの景色を呈するか否ふざれば一村の若者連中が鎮守の祭禮あ振舞ひ酒と飲ひの趣ありて座間の混雜は申す迄もあく杯盤狼藉の間に餘瀝座と濕まて客の衣裙を汚せと比々皆あ然り將た又親睦の點より云へば宴席會合の折に人を紹介し又紹介さるゝと甚だ大切ありと雖ども日本風の宴席には此事滅に疎にして座上生面の客多く人々鹿爪らしく一座を睥睨して默然たるの場合甚だ少なからず是れは日本人が所謂社交的の機智ふ乏しきの致す所もあらんと雖も日本宴席風として來客座に着きくより宴の散ずるに至るまゝ餘り其座を動かさゝるが爲め紹介の手數も不簡便にして餘程れ必要なるものを除くの外は互ひに親近の機會を得ざるの場合も多きが故ふん然るふ今此日本風の宴會法を一掃して西洋流を採用するとと爲らば飲食萬事の体裁も宜しく人々相識り相談するの便利も多くまて親睦の目的を達するに庶幾らんか扨て又從來の親睦會ふい所謂會主（プレジデント）あるものあきが爲め主人の務を負ふものあくして會場に統紀なきの弊あれど來會者中の老成人と推して會主と爲し會主は一應來會者ふ挨拶まて之を會場に誘引するの勞と執るが如きも亦自から一法ならん將た今日の處にては親睦會樣の集會に婦人の出席そる場合あく何々縣人の親睦會と云ふも語法を正せば何々縣れ男子の親睦會と云はざる可らず左れば追々には婦人と親睦會に誘引し親睦會を利用して男女交際の媒と爲すとも肝要ある可し年々歳々の親睦會、會する人多くして費す時と金とも少あからず此親睦會の体裁を改良して來會者親睦の旨を達せまひると同時ふまれを利用して社會改良の一端とも爲そは智者の策あらんと信ず而して其第一着歩は日本風の宴會法を廢て西洋風に移るに在るあり今や追々親睦會の季節に會まされば爰に一言を辨して會者の參考に供するものあり

官報

○司法省告示第六號
公證人規則第二十一條ニ基キ來ル明治二十年三月一日ヨリ各控訴院ニ於テ公證人試驗ヲ施行ス
明治十九年十一月十二日　司法大臣伯爵山田顯義

○辭令

（各省）　文部省屬　文科大學教授　外山正一
ベジル、ホール、チャンバレン

○英國領事代理　在橫濱英國領事樂神ロベルトソン氏は暇を以て來る十三日出發歸國するに付き不在中はジョン、カレー、ホール（John Carey Hall）氏右ロベルトソン氏同樣の資格を以て代理する旨同公使館より外務省へ通知あり

○布哇支那人を拒絶す　布哇に於ては支那人の續々渡來するとを忌ひ是を拒かんため其の政廳は見張番を一層嚴重にし新渡の支那人にして旅券を有せざる者は直に退去を命じ命に應じて退去せざる者は百キルダー（凡四十圓）の罰金并くは一箇月の苦役に處するとゝなせりと云ふ。（以上本年十一月十二日官報）

○昨日の本欄内大藏省令第三十三號中六分利付金證公債元金三十万圓とあるは二万圓の誤植あり

雜報

○福島縣蠶糸業組合の事　本月八日付福島通信員よりの報知に曰く當縣伊達郡蠶糸業組合の事は屢々報道しさる如く自由合同販賣一件より両黨派を生ぜ何事も兎角一致せぬ組合も全郡二十一組に分離し其規約も皆同ぢからず且從來生糸は戸毎に製出するものにて「デコール」、光澤、細太等も同一あらず繭質は全國第一等と呼ばるゝ伊達糸も之が爲めに貿易市場の價直は常に下位にある有樣なるより有志者は大に慨歎し百方改良を謀るとも何分習慣の久しき容易に改良そるに至らず實先ては「デコール」、光澤のみにても一致せしめんものとて今度郡長高木秀明氏の勸奬と有志者の盡力とに依りて全郡各組合の大會議を開き二十一組を全廢し自由合同の黨派を和解して更に一組合を組織し各村に揚返所と設立し戸々の揚返しを禁ぜて悉く此所にて揚返す事とし販賣ハ各自の自由ふ任せる事に議決したるハ去二日の事ありしが是より同郡れ蠶業ハ一層れ進歩と見るふいたるべし有志中愈進主義を持するもの製糸器械所を設け分業法を盛にする考へあるも習慣の容易に改むべからざるものあり盲目千人目明千人れその中あれば是ふ至るは中々の難事あるべし信夫郡も蠶糸の產出高は伊達ふ次ぎ事情も同一まて組合も八組ありしが目下各村に揚返所を設けんとの計畫中あり伊達、信夫、安積、田村、石川、安積、諸郡は本年競ふて共進會を開きたるが本年の同會は一般れ同業者に餘程の感覺を與へたるものゝ如く改良進歩の事とし云へば困難を忍びて贊助する姿とあり安達、田村には製糸器械所又は揚返所を設け戸々の製糸は大ふ減ぜ安積、石川等には桑園開拓ふ盡力するもの多く中にも田村郡は非常に該業の改良擴張と顧はしたりと云爲ふ蠶糸業組合取締所の會議にて議決したる規約更正れ件ハ當時逐〻報道に及びぬが今以て認可せらるず又信夫、伊達、田村三郡が其後十八郡と分離して取締所を設くるとの願書も差出したる僅にて何の沙汰もなし近來農商務省にて蠶糸業條例と發布せらるゝとかの風說あり多分是等の故あらんと評判せり

○大坂通信（十一月六日發）　船舶、荷物の增加　去月中府下各港出入の船舶及び荷物乘客れ數は俄かに增加し之を去る五月以來虎列刺病流行中ふ比せば殆んと三倍の多きふ至りと○輸出入品　府下各港より輸出する物品中最も重なるもれは支那向きの錫、晒蠟、刻昆布等にて輸入品は支那綿及び蓙樹等の白黑の砂糖類あり○小學規則改正　當府にては今度文部省令に基き小學校の區域及び位置規則並に小學齡兒童就學規則を設けて本日發布せり尙ほ追々小學校の規則と改正そるふ之あるが是迄土曜日ハ半日休業にて年末十二月二十五日より翌年一月十日まで休暇の定めありしが以後は土曜の半休を廢し年末休暇ハ十二月二十八日より翌一月六日まで改むる趣化なり○大坂紡績會社　府下西成郡三軒屋村なる大坂紡績會社は事業追々擴張ふ隨て製糸の賣高も增加し現今れ所にては先づ關西第一の紡績所とあれり同社れ製糸は重ふ紀州綿フラネルの產地及び愛知縣下の諸機場へ捌け行くものあるが近來社運の隆盛ふ隨ひ株券の價格も騰貴ふ昨今の賣買は一株（百圓株）二百五圓まで上進し本年下半期の利益は積金と爲す可き筈なりと○和唐紙　府下本町三丁目の紙商門田利助方より高知縣監獄署にて製造せし和唐紙の見本を清國へ送りたるふ同紙は純粹の唐紙と違ひ紙素を以て製造せしものあれば普通の唐紙に比すれば紙質の強固なるが爲め同國にて需用口多く今度同國より二百萬枚の注文を受けたるより右製造方と同監獄署へ注文を爲したりと

○山口通信（十一月一日發）　參向　惡疫流行の爲延引なし居たる各神社の祭禮も一時に執行する事とあり去る廿七日ハ安德天皇と鎭座ふさる別格官幣社赤間宮の大祭にて縣廳よりは奉幣使として渡邊書記官が參向し又本日は毛利家の祖先元就卿と祀りたる別格官幣社の大祭に付同書記官が參向の筈なり○頓野書記官　ハ昨朝馬關ふ出張の筈あるが右は白根內務書記官が九州より歸途舟木小野田セメント會社を巡視するに付出迎への爲なりと○縣會議案　は全く整頓したると以て來る四日迄に縣會議員を召集し臨時會を開き引續き通常會と開くべき都合ありと○擔田會支部長　十州擔田會支部長には山根健宗氏が撰擧されたり○書記出京　當地始審裁判所より登記法練習の書記某と出京せしめたり○祇園祭禮　當地ふて有名なる祇園の祭禮ハ來る五日より同十一日迄向ふ七日間興行の筈にて氏子中は種々準備中なり

○靜岡通信（十一月二日發）　及び二十九日の兩日ふ職を執行せり右試驗場の所ふて水勢の最も緩は蟻舟布舟の二種にして組合を止め以て浮橋を造るけしが其內凡二百人程の馬と走らせなをしてりまと右に付き東京より昨日歸京の途に上れり長が志太益津郡長に任の千頭正隆氏が命せら瀨街一郎氏が任せられ命せられたり○巡査教式を行ひたるが右の卒られ又更に各警察署より瓦製造所　梅澤非藏郡と設け毎日三千本位づそる計畫あり○農商村落到る所祭禮を行ふ精景氣付きたる模樣あり○呉服店古着商は殊に呉服店古着商は殊に

○高松通信（十一月三日發）　したる如く過日來滯在行は一昨日午後より警事書記等の催ふまて午前乘馬ふて島山（高所、監獄署を巡視し本○天長節　例年なれば市街の繁昌は沸がの撲滅に至らざるが旗の街頭に飄へり紅ラ美麗ある好天氣も○商況　諸物價は日々四斗二升入）金六圓五にて石炭油、鹽、砂糖、いふ○氣象　此頃は比すれば溫暖の方にて內外なり

A fool only wins.

馬鹿者は唯第一の勝負

He who wipes the mother's cheek.

子供の鼻を拭ふ人と其すあり

If some paper insinuates a good deal of irritation against the politicians has never been

若し或る新聞紙ふ政治は爲めに種々無量の併しあが〻若し其同賣りたる政治家なふ

るゝまとあらん

○今明日の緣日　今日

虛空藏、神田東松下町

稲井町の圓福辨天、明

の兩地藏、同日麻町の

新宿一丁目清正神社

寄

○汽船ノルマントン紀州沖ノルマントン紀州沖より又該船員の實話あり等貴社新報ふて疾く